

## 「のびやかスペースあーち」10周年

伊藤 篤（人間発達環境学研究所教授）

itoa@kobe-u.ac.jp 803-7973

津田英二（人間発達環境学研究所教授）

zda@kobe-u.ac.jp 803-7972

神戸大学大学院人間発達環境学研究所は、神戸市と神戸大学との協定に基づく連携により、2005年9月に灘区神ノ木通3-6-18にサテライト施設「のびやかスペースあーち」を設立しました。この9月に開設10周年を迎え、記念イベントを実施しました。

「のびやかスペースあーち」（以下「あーち」）は、設立に先立って、教職員や学生、行政職員、地域でさまざまな活動を展開している市民、企業の職員らの参加によって組織された設立準備委員会において、名称やコンセプトなどが決められました。設立以降は、連絡協議会と名称を変えて、現在でも多くの方々の参加を得ながら運営をしています。

「あーち」は、「子育て支援をきっかけにした共に生きるまちづくり」をテーマに掲げ、幅広い市民の利用に供してきました。年間延べ30000人を超える利用者がおり、2010年に実施した利用者調査では、「子どもを連れて楽しく遊ぶ場」として97.7%の回答者が「満足している」と回答しています。同調査の自由回答には、「子どもの家の外で遊ぶ時間を持っただけでなく同じ月齢や年齢の子どもを見ることができ、客観的に自分の子育てを考えることができるようになった気がします。障がいのある子どもやそのお母さんと話すこともあり自分にはどういった形で今後関わりあっていくことができるのか、いろいろ考える機会を与えてくださった場所だと思います」といった記述がみられました。

「あーち」では、教員や学生の他、市民のみなさんによるボランティアなプログラムが多様に展開してきました。アート系ワークショップ、音楽系ワークショップ、工作系のワークショップ、紙芝居や読み聞かせ、人形劇、保護者の勉強会や交流会、障がい児者向けの社会参加プログラム、療育系プログラムなど、ほぼ毎日何らかのプログラムが実施されています。それらのプログラムを通して、多様な人たちが相互に関わりを深め、「共に生きるまちづくり」の実現に貢献してきました。

「あーち」は、学生が実践的に学ぶ場としても活用されてきています。年に数度開催される「あーち博物館」は、博物館学芸員養成のための実習として質の高い教育機会を提供してきました。この実習は、「あーち」に集まるさまざまな情報や人などを頼りに、展示という手法を手掛かりとして、多様な人や組織と連携し、地域社会に住む私たちが共有することのできる価値を見つけ、創造することを趣旨とする協働的なプログラムです。また、教員やカウンセラーを志望する学生が、さまざまな状況・境遇の子どもやその保護者と直接親しく関わることによって、入職に向けた心構えや高度な支援技術などを学ぶ場としても機能してきました。「あーち」をフィールドとした卒業論文、修士論文、博士論文も多くあり、「子育て支援施設を利用する保護者の「親育ち」に関する研究」「子育てを楽しむための教育」「障害児の発達を促す環境形成に向けた地域資源の相互連携」（以上修士論文）「重度・重複障がいのある人と地域住民との関係形成の促進に関する研究」（博士論文）など、卒業論文5編・修士論文10編・博士論文2編に及びます。

さらに「あーち」は、「人間発達環境学研究所ヒューマン・コミュニティ創成研究センターの実践的研究のフィールドとしても活用されています。関連する書籍は7冊、学術論文は少なくとも25本、その他にも研究発表、報告書や雑誌記事等が多数あります。2007年に「ひょうごユニバーサル社会づくり賞」、2009年に「神戸市市民福祉賞」、2010年に「神戸大学学長表彰」をそれぞれ受賞しました。



神戸大学大学院人文学部人間学専攻  
「のびゆびスペース 第一号」  
〒657-0207 神戸市灘区神ノ木通3-6-18  
TEL:078-862-5200 Email: achi@kobe-u.ac.jp  
http://www2.kobe-u.ac.jp/~eda/arc-eps.html  
印刷: 火-土曜日 10:30-16:30 発行日: 16:00まで  
神戸大学大学院人文学部人間学専攻  
ヒューマン・コミュニケーション・創成研究センター  
〒657-0207 神戸市灘区神ノ木通3-11  
TEL: 078-862-7070 FAX: 078-862-7071

毎月ご好評をいただいている「おうちをめぐり」第3弾！  
「子どもさんの家、おびを守るために、お母さまのできること...」  
をテーマに、今回も楽しくなるお話がいっぱい！  
前回参加できなかった方も、もう一度と言う方も嬉しいあわせ  
のうえ、ぜひご参加ください。  
日 時：7月24日(休) 1時30分～2時30分  
場 所：こらぼ・あーち  
講 師：公益社団法人 兵庫県歯科衛生士会  
神戸東支部 支部長 二神 真由美

「ぼくはあーち」まつりく まつりく  
作：マ・ガレット・ロイス・ブラウン  
訳：坪井梨絵 絵：林明子  
出版社：バンボン社  
発行：1984年  
大好きなおばあちゃんから、遊びにおいで  
と電話もらった「ぼく」。はじめて1人  
でおばあちゃんの家をのびします。おばあちゃんの家では、田舎  
道を「まっすぐ まっすぐ」、おばあちゃんから言われた通りに  
歩き始めた「ぼく」は、道はたにお花を見つけるのですが...  
道の途中には、さまざまな面白い動物のつぼみ、「ぼく」  
は家のおばあちゃんにたどり着けるのでしょうか？「ぼく」  
の小さな冒険に、わくわくドキドキしながら親子で楽しめる  
絵本です。  
(神戸大学 発達科学部 人間形成学科 4年 吉田 希)

「あーち」の図れ物で一番多いんかち。ガゼやタムル地、プリント  
紙や黒板はブランド物も！でも残念ながら持ち主に返ることばっかり  
ありません。失くしたかな？と思ったら、お気軽に受けへおたすねくだい



10年前の ↓→  
オープニング  
セレモニーの様子  
(右は区民ホール)



「あーち通信」 →  
利用者参加で毎月発行  
2015年9月号で120号



←↑ あーち10周年ウィーク・プログラムの様子



高校生と赤ちゃんの →  
ふれあい体験プログラム



← あーち博物館の様子

↓ あーち博物館準備  
の風景



↓ ふだんの広場の様子





のびやかスペース  
あーち



# 10周年ウィーク!

2015年9月1日～5日

イベント予告

2005年9月に産声をあげた「のびやかスペースあーち」は今年の9月で満10歳を迎えました。小学生で例えるなら、3、4年生にあたります。皆さんとともに、この場所で大切な時間を共有してきました。そこで、9月第1週目を「10周年ウィーク」として、楽しく有意義な企画を実施することにしました。

みなさんのご参加をお待ちしています。  
ぜひ、ご家族やお友達と一緒に遊びに来てくださいね!

手づくり記念グッズ  
あるよ!

## ～10周年ウィーク イベント予定～

	9月1日(火)	9月2日(水)	9月3日(木)	9月4日(金)	9月5日(土)
午前	11時20分～ <b>オープニングイベント</b> 教員の挨拶  おひさまひろば (ふらっと)	11～12時 小児救急の おはなし (こらぼ) 協力 灘消防署	11～12時 安全のおはなし ＜仮題＞ (ふらっと) 協力 灘警察署	11時～ トーンチャイム (こらぼ) 出演:永野さんと ゆかいな仲間たち	午前 何でも発表会 【I部】 あーち・ テーマソングを 歌おう! (こらぼ)
午後	2時～ 人形劇団・むー 10周年記念公演 & 小林さんの紙芝居 (ふらっと)	2時～ 津田先生、 あーちを語る ＜音楽付き＞ (こらぼ)	2時30分～ 限定復活 らくがきダンス (こらぼ) プロデュース 神大教員と学生	3時30分～ つくって遊ぼう! 居場所づくり& めだか親子クラブ (こらぼ)	1時30分～ 何でも発表会 【II部】 (こらぼ)
あーち10周年記念展示 <あーち10年のあゆみ みなさんの作品/ご自慢 など> (こらぼ)					

※やむを得ない事情で、プログラムを変更・中止する場合があります。どうぞご了承ください。

### ★おもちゃ病院★

壊れたおもちゃを持参くださいね。  
おもちゃドクターが、パパママや子どもたちに、修理の仕方を教えてくださいます。

### 「何でも発表会II部」出演者大募集!

「あーち」に関わりのある方みなさんのさまざまな自己表現によって、10周年ウィークを盛り上げていただこうと思います。ぜひ、9月5日(土)午後実施される「何でも発表会」にご出演ください。出演者を囲んでさらに交流の輪を広げていきましょう。また、記念展示としてみなさんの作品や自慢なこと等も募集しています。

⇒申し込み・お問い合わせは、「あーち」受付までお気軽に。

\*発表内容は、音楽でも手品でも語りでも、どのようなものでも歓迎です(ただし、政治・宗教に関わる主張はご遠慮ください)。発表の形式もレベルも問いません。発表者は、お子さんでも保護者の方でも結構です。